

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	CoCoラボ・やわらぎ		
○保護者評価実施期間	令和 6年 10月 24日		～ 令和 6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和 6年 10月 24日		～ 令和 6年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 12月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的によって活動の場を分けている。(学習室・活動室)切り替えがしやすい。</li> <li>刺激を減らすため、すっきり収納するよう日頃から心がけている。また、自分のものを所定の場所に片付ける習慣作りのため、個人の収納ボックスがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時計表示をアナログだけでなく、デジタルの時計を置くことで、得意な方を見て行動がとりやすくなる。</li> </ul>
2	適切な支援の提供 保護者への説明等	<ul style="list-style-type: none"> <li>5領域の分野でバランスよく組み立てている。</li> <li>SNSで他事業所の取り組みなど情報収集している。</li> <li>行事の際は地域の方とも交流出来る企画を立てている。</li> <li>保護者と必ず半年に1度面談し、支援について説明を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者向けの勉強会・講演会・交流会等を計画する。</li> </ul>
3	満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事や活動プログラムを計画企画する際は、利用児童のニーズを拾うように意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月のお便りや、SNSにて、活動の様子や効果など発信する。</li> <li>意見箱の設置。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な見直しを行っていない。</li> <li>保護者向けに内容を十分発信出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次回の見直し時期を設定する。</li> <li>室内に掲示、またはホームページに掲載する。</li> </ul>
2	関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援協議会への参加が出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員や管理者の会に積極的に参加し情報収集する。</li> </ul>
3	児童館、児童クラブとの交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>放デイと児童館などを併用する児童はいるが、いざ放デイと交流となると、受ける側の理解を得るのが難しそうだと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問するのではなく、放デイの行事に誘ってみる。気軽に遊びに来てもらう雰囲気を作る。</li> </ul>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
CoCoラボ・やわらぎ		令和 7年 3月 19日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	去年はワンフロアでしたが、移転後は学習室、活動室、静養室で使用目的によって分かれているので快適です。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	2		配置基準は満たしています。送迎と重なるときなど、人手が不足と感じる時があるので次年度に向けて検討中です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0		玄関が少し狭い為、お迎えの時に混雑することがあります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	毎日児童と床拭きやトイレ掃除をし、自分たちで居心地のいい場所づくりを意識して行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	静養室を設け、クールダウンできるように毛布とマットを常備しています。	静養室兼更衣室となっており、同時に複数名使用したいときの対応が課題です。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	2	毎週、職員ミーティングを行いながら、振り返りと分析を繰り返しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	保護者向けの行事の際も、アンケートを実施し、次回の取り組み時の参考にしています。保護者が回答しやすいようにGoogleフォームで集計しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	週に1回ミーティングを行い意見を収集します。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	3	法人内で苦情虐待第三者委員会、相談窓口を設けています。	外部評価を導入していないので、ボランティアなどを受け入れることで外の目を入れる工夫を行っています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	支援に支障がないよう調整し、確保できています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	11		現在、作成中です。公表はホームページにて行います。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	相談員を交えた担当者会議を開催しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	支援計画会議を必ず実施し、計画更新をしています。	長期休暇期間中は全員参加は難しいので、限られた職員で行うことがあります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	原案を元に職員間で協議し本計画を立てています。	
	15 こどもの通店行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	半年に1度見直しを行っています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	担当者を中心に、意見を集めながら立案しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	5領域で分類された内容に沿って、バランスよく組み立てるようにしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	申し送り表にも記入し、伝達漏れがないように工夫しています。	シフト上、全員揃わない日が週に何度かあるので、不在の職員に伝え忘れる時があります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	振り返り表を活用し、次回に生かすようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	正しい記録の取り方が出来ているか確認するため、研修に参加したり、職員同士でチェックしたりしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	規則の通り、半年に1度実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を立てているか。	11	0	ガイドラインに沿った内容で支援計画を立てています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	活動スケジュールに沿うのが困難な児童もいるので、個別対応で、強制はせず自分に合った過ごし方を自分で決めてもらいます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	児発管が主に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	必要な時に連携出来るよう準備しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	行事予定表の写しを、学校や保護者からもらい、把握するようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	0	利用前ケース会議に参加し、現在の状況やかかわり方のコツを伝達して頂いています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0	まだそういったケースがないですが、そうなった場合、協力します。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	3	今年度は、はるもにあさんの出張講座、市の児童虐待の出張講座などを受講し、学ぶ機会を設けました。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	6	放課後、公園で活動する際に交流することがあります。	児童館等の交流について、保護者の考えや意見もお聞きしたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	11	福井市障害児支援事業所連絡会には参加しています。	引き続き協議会（障害児支援事業所連絡会等）に参加していきたいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	お迎えの時になかなか会えない保護者に対しては、面談の場で情報共有をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	スクラムふくいさんから派遣頂いたペアレント・トレーナーさんに保護者向けの講演をしていただき、大変好評でした。	同じ立場の保護者同士の交流を望んでおられる方のために、次年度もまた計画を立てたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	契約書に沿って、説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	半年に1回以上面談し、確認したうえで計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	わかりやすく、具体的に表記し、丁寧に説明しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	信頼関係を築き、相談のニーズに柔軟に対応できるよう日頃から準備しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	3	お祭りや講演会を交流の機会となるよう企画しました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	苦情の内容、再発防止等について速やかに職員間で話し合い対応できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	公式Lineで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	個人情報に関する書類は施錠された書庫へ、パソコンの使用についても担当者が安全管理を徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	個別に、その人に合った伝え方を工夫しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	0	今年は、六条地区の就労継続支援B型事業所などと合同で、お祭りを開催しました。楽しかったなど、評価をいただきましたので来年度も開催予定です。	開催時期、スペースなど、どんな方でも参加しやすい環境でお祭りが出来るように情報収集しながら取り組んでいきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2	法人内にて、各訓練を合同で行い、当日参加できなかった職員には、研修伝達会を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	BCPマニュアルを作成し、職員は図上訓練と動画学習を行っています。また、児童は2か月に1回、地震・火事・水害・防犯訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	初回アセスメント時に確認しています。利用開始後、発症した場合も同じくアセスメントし注意事項など保護者と共有します。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	必ず、指示書を提出していただき、万が一に備えた場合の対処方をマニュアル化し、見える場所に掲示します。	まだ、重度のアレルギーのお子さんは受け入れたことはないので、他の事業所の取り組みも参考にしたいと考えています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1	安全計画を元に、定期的に見直しをし、改善に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1	毎月発行しているお便りにてお知らせしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	週1回のミーティングで、職員間の共有をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	虐待防止委員会を設置し、バースティックチェックや虐待防止セルフチェックリストを行っています。また、年に1回全職員が必須研修を受けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	どのような場合にやむを得ず拘束するか、具体的に説明を行っています。必ず記録に残します。		